

CASBEE-建築(新築)2016年版  
 ジュンテンドー北栄店

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート									
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
Q 建築物の環境品質									2.6
Q1 室内環境			0.40		-				2.8
1 音環境		1.8	0.15	-	-				1.8
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	3.0	-				
1.2 遮音		1.0	0.40	-	-				
1 開口部遮音性能		1.0	1.00	3.0	-				
2 界壁遮音性能		-	-	3.0	-				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	-				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	-				
1.3 吸音		1.0	0.20	3.0	-				
2 温熱環境		2.6	0.35	-	-				2.6
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-				
1 室温		3.0	0.50	3.0	-				
2 外皮性能		3.0	0.17	3.0	-				
3 ゾーン別制御性		3.0	0.33	-	-				
2.2 湿度制御		1.0	0.20	3.0	-				
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-				
3 光・視環境		3.0	0.25	-	-				3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.50	-	-				
1 昼光率		-	-	3.0	-				
2 方位別開口		-	-	1.0	-				
3 昼光利用設備		3.0	1.00	3.0	-				
3.2 グレア対策		-	-	-	-				
1 昼光制御		-	-	3.0	-				
3.3 照度		-	-	3.0	-				
3.4 照明制御		3.0	0.50	3.0	-				
4 空気質環境		3.8	0.25	-	-				3.8
4.1 発生源対策		5.0	0.50	-	-				
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆の材料を90%以上使用している。	5.0	1.00	3.0	-				
4.2 換気		3.0	0.30	-	-				
1 換気量		3.0	0.50	3.0	-				
2 自然換気性能		-	-	3.0	-				
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	-				
4.3 運用管理		2.0	0.20	-	-				
1 CO <sub>2</sub> の監視		1.0	0.50	-	-				
2 喫煙の制御		3.0	0.50	-	-				
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-				3.2
1 機能性		3.1	0.40	-	-				3.1
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-				
1 広さ・収納性		-	-	3.0	-				
2 高度情報通信設備対応		-	-	3.0	-				
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-				
1.2 心理性・快適性		3.3	0.30	-	-				
1 広さ感・景観	売場の天井高さは4.2mと5.0mである。	5.0	0.33	3.0	-				
2 リフレッシュスペース		2.0	0.33	-	-				
3 内装計画		3.0	0.33	-	-				
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-				
1 維持管理に配慮した設計	内装材は防汚性の高い材料を使用し、軒下部分には防鳥網を設置し	4.0	0.50	-	-				
2 維持管理用機能の確保		2.0	0.50	-	-				
2 耐用性・信頼性		3.1	0.30	-	-				3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-				
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-				
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.30	-	-				
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な用途の上位3種のうち、2種以上にC以上の材料を使用してい	4.0	0.20	-	-				
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-				
2.4 信頼性		3.4	0.20	-	-				
1 空調・換気設備	換気設備は個別運転ができるようにし、また耐震性の高い施工をして	5.0	0.20	-	-				
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-				
3 電気設備		3.0	0.20	-	-				
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-				
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-				

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.6</b>	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.6</b>
3.1 空間のゆとり			<b>5.0</b>	<b>0.30</b>	-	-	
1 階高のゆとり		階高5.9m(水下)	5.0	0.60	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ		壁長さ比率を0.063(周長216.1÷面積3415.92)	5.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			<b>3.0</b>	<b>0.30</b>	<b>3.0</b>	-	
3.3 設備の更新性			<b>3.0</b>	<b>0.40</b>	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>1.8</b>
1 生物環境の保全と創出			<b>1.0</b>	<b>0.30</b>	-	-	<b>1.0</b>
2 まちなみ・景観への配慮			<b>2.0</b>	<b>0.40</b>	-	-	<b>2.0</b>
3 地域性・アメニティへの配慮			<b>2.5</b>	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.5</b>
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>3.5</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>4.0</b>
1 建物外皮の熱負荷抑制		断熱材はグラスウール使用。	<b>3.2</b>	<b>0.20</b>	-	-	<b>3.2</b>
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.70	<b>5.0</b>	<b>0.50</b>	-	-	<b>5.0</b>
4 効率的運用			<b>3.0</b>	<b>0.20</b>	-	-	<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.3</b>
1 水資源保護			<b>3.4</b>	<b>0.20</b>	-	-	<b>3.4</b>
1.1 節水		小便器はセンサー付を使用している。大便器は擬音器使用している。	<b>4.0</b>	<b>0.40</b>	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			<b>3.0</b>	<b>0.60</b>	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			<b>3.2</b>	<b>0.60</b>	-	-	<b>3.2</b>
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		アスファルト舗装下地再生クラッシャー	3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		鉄骨造なので、容易に分別できる。	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			<b>3.6</b>	<b>0.20</b>	-	-	<b>3.6</b>
3.1 有害物質を含まない材料の使用		指定科学物質を含有しない建材種別が2つある。	<b>5.0</b>	<b>0.30</b>	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			<b>3.0</b>	<b>0.70</b>	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.2</b>
1 地球温暖化への配慮		CO2排出量が一般的な建物に対して50%以下である。	<b>4.1</b>	<b>0.33</b>	-	-	<b>4.1</b>
2 地域環境への配慮			<b>2.5</b>	<b>0.33</b>	-	-	<b>2.5</b>
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			<b>3.3</b>	<b>0.25</b>	-	-	
1 雨水排水負荷低減			-	-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.33	-	-	
3 交通負荷抑制		駐車場及び駐輪場の確保を充分行っている。	5.0	0.33	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮			<b>3.0</b>	<b>0.33</b>	-	-	<b>3.0</b>
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			<b>3.0</b>	<b>0.40</b>	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			<b>3.0</b>	<b>0.40</b>	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			<b>3.0</b>	<b>0.20</b>	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	